

2022年度 日本工学院専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシー E 1											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	淡川和真			実務経験	有	職種	ゼネラルプロデューサー				
担当教員紹介											
現職：テレビ局関連企業において製作業務に従事している											
授業概要											
近年、ライブ配信市場は右肩上がりの成長を遂げており、国内でも「ライブ配信」の認知が拡大している。 中国では、ライブ配信で商品を売るライブコマース市場が急拡大しており、市場規模は17兆円といわれている。 本講義では、YouTube LIVEを始めとしたライブ配信の基礎と、付随するYouTube・TikTokなどのネット動画制作の基礎・応用を学ぶ。											
到達目標											
映像制作において、テレビ業界一択では無いという選択肢を持たせ、伸びしろのある配信業界への視野の拡大、そして、配信技術習得を目標とする。											
授業方法											
担当講師の淡川を中心にオンライン授業で展開するが、学生が飽きないようにゲスト講師を入れて授業に変化をつけ、学生とのコミュニケーションを重視しながら授業を行う。											
成績評価方法											
試験・課題 70％ 提出すればOKというのではなく中身を評価 レポート（企画書作成） 20％ 提出すればOKというのではな中身を評価 平常点 10％ 授業参加態度を評価											
履修上の注意											
授業で見せる、社外秘の資料などのスクリーンショットや携帯による撮影は厳禁とし、発見した場合は即刻削除を求める。 オンライン授業となるため、授業中の居眠りは厳禁とする。 授業出席日数が4分の3以下の学生は、定期試験を受検することが出来ない。											
教科書教材											
講師作成のPPTを中心に授業を行うため、配布資料は基本なし オンライン受講のため、自身でPC上でメモをするか、ノートを取ることを推奨とする											
回数	授業計画										
第1回	テレビ業界と配信業界の取り巻く環境 テレビと配信・YouTubeの違い										
第2回	YouTube LIVEについて 配信の仕組み、視聴の波の作り方										
第3回	YouTubeチャンネルの企画・運営										
第4回	ABEMAの生配信（生放送）について										
第5回	演出論① ネット番組、音楽番組、ゴールデン番組の仕組み										

2022年度 日本工学院専門学校	
放送芸術科	
映像リテラシー E 1	
第6回	演出論② バーチャル演出とスタジオについて
第7回	配信番組のディレクターについて
第8回	配信番組など台本作成について
第9回	配信番組（番組制作）のリサーチ・仕込みについて
第10回	YouTube ショート・TikTokなどのショート動画について
第11回	配信番組必須スキル①「配信におけるPremiere使用 基礎編」
第12回	配信番組必須スキル②「配信におけるPremiere使用 応用編」
第13回	配信番組必須スキル③「Photoshop」
第14回	課題評価会&総括
第15回	期末テスト